



陽風園だより

2009年12月
第56号

発行 社会福祉法人陽風園 金沢市三口新町1丁目8番1号 ☎ (076) 263-7101



陽風語録

安住する者は
そこを一番幸せな楽しい場とする

ふしぎな出会い

理事長 奥

清

私の家のすぐ後に百坪余りの田圃があり、稲作が続けられています。四月、田植えの準備が始められ水が張られますと、どこからともなく青蛙が集まってきて産卵を開始します。夜通しうるさいくらい恋の合唱が続けられます。五月、産卵を終えて中に小太りで大きめの青蛙がいます。昼になると、いつでも家の物干竿の端の方に来てちよこんと坐っています。その青蛙に、家内が「あお子」と名付けています。あお子は、拗ねたように両手を顎の下へ入れてあまり動きません。家内が毎朝のように「あお子ちゃん：今日も又来てくれたのかい：」と挨拶に出掛けあお子と会える事を楽しんでいるようです。又「今日は暑かったから片足だけ竿からだらりと下げて殆ど動かなかった」とか「あお子ちゃん今日は暑いね：と話しかけたら片足をびくびく動かして反応してくれた：」とか、まさかと思われるような事を言っていて一人得意がっています。

私はあお子に余り関心がありません。二度ほどおしっこを引っ掛けられたので割り箸で摘んで放ったことがあります。その都度「あお子はどこへ行ったか：？姿を見せてくれない：」と家内が心配していました。「季節が変わったのでどこか暖かい所へでも引越して行ったのでは：」と誤魔化していました。朝夕あお子を探し続けていたようです。「割り箸で挟んで二、三回放ったことがある：」と話したら、「そんな薄情な事をする者がおるかいね！：」と嘆き続けていました。十月中頃、暖かい秋の日が続き、あお子が帰って来てくれたと喜んでいたのでホッとしています。それから調子を合わせて放るのを止めています。だからよく来ていたようですが季節の変わりめでもう冬眠場所を捜すころです。あお子に語り掛けている様子を見ると、話し相手になる内孫がない淋しさからかも知れません。

災害はある日突然やってくる 水害に学ぶ避難対策

第二万陽苑施設長 山本 正直

平成二十年七月二十八日未明から早朝にかけて、医王山を中心に襲ったゲリラ豪雨、金沢地方気象台によると、午前五時～八時の三時間雨量二五・一ミリ、六時三十分～七時三十分の一時間の雨量一三八ミリという驚異的な降水量を観測したとのことである。

未曾有の集中豪雨は、山腹に土砂崩れや地滑りを発生させ、谷や沢は流木や土石流で崩壊し浸食していった。浅野川本流と支流の医王山川、富山県の小矢部川などでは本流・支流の被害に止まらず流域の公共施設、旅館、工場、住宅などの建物、農地や農林業施設等に多大な被害を及ぼした。湯涌から富山県西部の南砺市に通じる主要地方道やその他の県道、市道、林道などが崩壊し湯涌地区全体が孤立し断水、停電などライフラインにも少なからず被害をもたらした。浅野川の氾濫は、昭和二十八年以来五十五年ぶりのことであったが、湯涌地区は当時を凌ぐ被害の甚大さから、国の局地激甚災害に指定された。

今年に入って災害復旧工事が急ピッチで進み、避難勧告が出

されていた地区も十月三十日までにして解除され、住み慣れた自宅での生活を取り戻しつつあるが、あの忌まわしい水害がついに昨日の出来事のように思い出される。

あつという間に濁流と土砂で道路が埋まり、自動車が使えず、指定避難場所である公民館へ徒歩で辿り着くも、周辺一帯は泥沼のような状態で近寄ることすらできなかつた。各集落では電柱の倒壊で電話回線が寸断され、携帯電話も電池切れで音信不通になり、様々な情報が飛び交う中で安否確認に苦勞し、避難すべきか否か戸惑った住民も多かった。

「避難に勝る対策なし」と言われるが、正確な情報がなければ正しい判断、行動が取れないし、避難するにも二次災害を警戒しなければならぬのである。

こうした事態を重視した金沢市は、気象情報や防災情報をインターネットで配信する「情報表示システム」を開発し、湯涌地区一十集落での試行を経て、近く市内山間部の集落へ行政からの情報が提供されることになり、情報の孤立解消が図られることは、

山間地域の住民にとって心強い限りである。

今年六月～八月にかけて、九州北部や中国地方の各県で梅雨前線や台風による豪雨災害で多数の犠牲者が出たことは記憶に新しいことである。

避難勧告のタイミングや避難誘導のあり方に多くの教訓を残した西日本豪雨に関して、九月六日付の北国新聞の社説は、「ゲリラに応じた危機管理を」との見出しで、『被害予測が極めて困難なゲリラ豪雨は、画一的な避難勧告では十分に対応できず、より踏み込んだ対策を自治体に迫っている。』

石川県は九月補正予算に砂防ダムの機能強化や福祉施設の「避難支援ガイドライン」策定などを盛り込み、富山県でも孤立集落を防ぐ対策づくりに乗り出したが、温暖化の影響でゲリラ豪雨は今後も増える予想され、従来の発想を超えた新たな危機管理体制が求められている。

西日本豪雨では一部の自治体で避難勧告を出すタイミングが遅れたことが指摘されたほか、避難勧告を受けて逃げる途中に濁流に巻き込まれて亡くなるケースも相次いだ。すでに川や用水が氾濫した段階で逃げることの難しさ、とりわけ夜間の道路冠水は激しい濁流に足を取られ

やすい危険性が浮かび上がった。場合によっては自宅の二階で待機する方が安全だったとの専門家の指摘もある。」と警鐘を鳴らしている。

ゲリラ豪雨で避難を余儀なくされ、自分の身は自分で守る（自助）ことの難しさに加え、隣近所や地域住民がお互いに助け合う（共助）ことの大切さを痛感させられた。

自主防災組織を中心に、いざという時に備え、連絡方法、避難経路と避難場所を確認するなど、定期的な図上訓練や防災訓練を行って避難対策を確立しておくことが、被害の拡大を防ぎ、命を救うことにも繋がるのではないかと思う。

一方、多くの高齢者が生活する施設にあつて、万一災害が発生した場合、利用者を安全かつ確実に避難させる、援護することが最優先されることは当然のことである。当苑では、毎月、火災を想定した避難訓練を行っているが、先ごろ、火災発生時の避難マニュアルに「風水害・地震・豪雪」を加えた「非常災害対策マニュアル」を作成したところである。職員一人ひとりが自然災害に対する防災意識をより深められるよう、月々の避難訓練を通して啓発に努めていきたいと考えている。

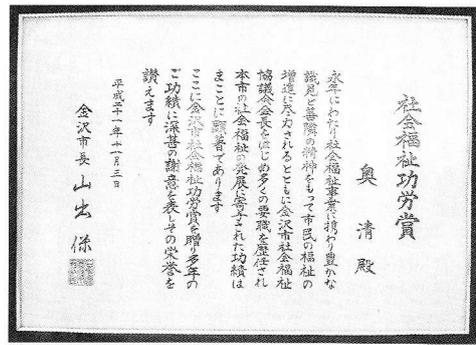
園だより

施設だより

社会福祉功労賞受賞

〓奥 清理事長〓

平成二十一年十一月三日に金沢市文化ホールにて贈呈式が行われました。社会福祉功労賞の七年ぶりの対象者となり奥理事長が左記の功績で受賞されました。



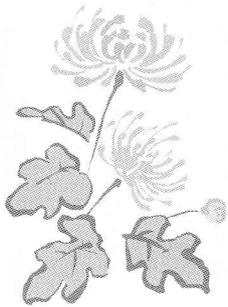
【功績】(受賞者功績書から転載)

奥清氏は、永年にわたり教育の振興発展に尽力されたのち、平成八年、社会福祉法人金沢市社会福祉協議会会長に推され、社会福祉の拡大深化に取組み、地域福祉の充実・向上に実績を挙げた。同年、金沢市の中核市移行に伴

い設置された金沢市社会福祉審議会委員長に就任し、市民福祉全般にわたる審議機関の長としてその役割を果たし、福祉行政の推進に寄与している。

平成十二年、介護保険制度の導入に伴い設置された金沢市介護保険運営協議会会長に就任し、長寿安心プランの策定や施設の充実、介護保険料の検討など制度の安定的運営について提言を行ってきたほか、介護サービスに関わる事業者全体に働きかけ、金沢市介護サービス事業者連絡会を設立し、密度の濃い多様な福祉サービスが提供できるように相互研修を行い、互いに連絡調整に努めるための体制を確立した。

住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けることができるまちづくりを率先して取り組み、本市の地域福祉の発展向上に寄与した功績は誠に顕著である。



瑞宝単光章受章 おめでとございませす

〓中川 義人施設長〓

この度、あけぼの作業所施設長中川義人氏が瑞宝単光章を受章されました。

中川義人施設長は、高齢者の生活の質の向上に二十三年、知的障害者の就労・生活支援に六年、生活保護事業に八年、これら三十七年間に及ぶ福祉活動に携わられた功績が認められたもので、陽風園といたしましても名誉なことでありませす。

この紙面にてお知らせいたします。



向陽苑

防火ポスター優秀賞受賞

〓山科 喜一さん〓

金沢市消防局より「住宅防災に関する標語とポスター」の募集があり、その表彰式が十一月六日に行われました。

ポスターの部で優秀賞を受賞された山科喜一さんは、「この年になって表彰されるとは夢にも思っていないんですけど、でも表彰されることは大変嬉しいことです。喜んでお受けしました。これもひとえにこの私を励ましてくれました皆さんのおかげです。厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。と感想を述べておりました。



施設だより

介護健康づくり教室

お年寄り地域福祉支援センター
みつくちしんまち

職員：「ばあちゃんか？俺や俺、交通事故起こしてしもうた。金送ってくれ」

地域住民：「あんた誰や？俺て言うてもわからん！名前言うまっし！」ガチャン！（電話を切った音）皆さんからの拍手と「お見事！」の声。

これは、地域の公民館で、センターの職員が振り込め詐欺の寸劇を行った後、参加者の皆さんと、電話でのやり取りを行った一場面です。

お年寄り地域福祉支援センターみつくちしんまちは、金沢市の委託を受けて、菊川・崎浦・十一屋・内川の四地区にお住まいの、六十五歳以上の高齢者やその家族に対して、福祉の総合相談窓口を担当しています。また、高齢者の方が住み慣れた地域の中で、自宅の生活を続けることができ、要介護状態にならないために、地区社協や民生委員、ボランティアの方の協力のもとに、各地区の公民館で地域サロンや介護予防健康教室を年間六十回

以上開催しています。

高齢者の方が、地域サロンや健康教室を通して、楽しみや生きがいを育み、交流の輪が広がることで、生き生きとした生活を送ることができるよう、「振り込め詐欺予防講座」や「悪徳商法予防講座」など時事に合わせた講座内容で一人暮らしの高齢者への啓発や、楽しみながら行うことができる体操やゲームを取り入れています。脳トレ体操や計算・漢字問題など、真剣な表情の中にも、笑いがまじり和気あいあいとした雰囲気の中で行っています。

教室の日を楽しみにされ、毎回参加される顔なじみの皆さん、チラシや口コミで新たに参加される方、今後も、できるだけ多くの高齢者の方に参加して頂き、楽しみながら、介護予防に繋がられるよう教室を開催していきたいと思っております。



木越デイサービスセンター

昼食バイキングと
鍋パーティー

お昼前、テーブルクロスを掛け始めると「今日は何の日かね」「今日は誰かの誕生日かね」「何時もと違う様子に皆さん興味津々です。そうです今日はバイキングの日です。」

「これ何かね」「ご飯、混ぜご飯がいいね」男性も女性も料理が並んでいるテーブルの前で順番に好きな物を持って行き、鍋の日は「この具何かね」「これ嫌いやけど食べてみようかね」と笑顔で会話も進みお箸も進み、「美味しかったね」と食の細い人も今日ばかりは残さず完食し、食欲の秋を満喫されました。

「次はおでんが食べたい」「石狩鍋がいいな」と要望もあり、今後も厨房の皆さんにご協力頂き季節に応じ、食べる楽しみを大切に思っ頂き、意欲的に行ってもらえらるよう、楽しいひと時を創って行きたいと思っております。



陽風園日誌

8月

- 盆踊り (陽風園)
- 法話 (陽風園)
- 第七代理事長墓参 (陽風園)
- 地藏盆法要 (陽風園・第二)
- 美容ボランティア (陽風園)
- 納涼行事 (向陽)
- 納涼祭 (ハビリ)
- ショッピング (特養三施設)
- 海風浴ドライブ (万陽・第二)
- 夏休みチャレンジ教室 (三陽)
- 茶話会 (万陽デイ)
- 小中高生とのふれあい (みずき)
- 向日葵ドライブ (ハビリ)
- 癒しの香り湯 (木越デイ)
- ホテルでランチ&ドライブ (木越デイ)
- ティータイム懇談会 (ハビリ)
- 地域清掃ボランティア (三陽)
- ドライブ (第三)
- オカリナ演奏ボランティア (木越デイ)
- 法話ボランティア (木越デイ)
- 菊川・崎浦・つつじが丘・内川・大桑団地健康づくり教室 (地域福祉)
- 保護者総会 (ハビリ)

施設だより

第二万陽苑

紅葉ドライブ

秋も深まる中、秋晴れの暖かな日差しは午後、利用者の方々と内川ダム方面に紅葉ドライブへ行って参りました。

苑を出発し山間に入った頃、思い掛けず鹿の姿を見つけ、皆なで車中より身を乗り出してご覧になっていました。そして菊水分校跡に到着し車から出ると外気は肌寒さを感じましたが、山の谷間の先に見える紅葉には利用者の方も職員も見惚れ、暫し言葉が失ってしまいました。その美しい山々をバックにしての記念撮影では清々しい笑顔を見せて頂きました。

晴天の下で頂くおやつも格別なものになり、「美味しいね」と紅葉を眺めるお顔を拝見し、皆さんは、幾度と秋を迎えられると共に、色々な思いを長きの人生に刻んで来られたのだらうと感じました。「今度は、花見ですね」と笑顔をお返し、心温まる紅葉狩りでした。



第三万陽苑

敬老模擬店

シルバークの九月二十一日「敬老の日」に恒例の「敬老模擬店」を開催しました。

利用者のご家族を招待し、利用者の方々と一緒に長寿を祝い、食事や余興を楽しんでいただく行事です。



苑には、たくさんのご家族の方々が来て下さり、中には、連休を利用して遠方より来られた方もいらつしやいました。利用者の方々と含めると会場は、三百人近くの人となりました。模擬店は、末松施設長の挨拶で始まり、石川県・金沢市・陽風園から、それぞれ届いた敬老祝い品の贈呈が行われました。今年二人の方が、百歳を迎えられ一人は第三万陽苑では初の男性でした。その他、白寿、米寿の方々のお祝いもありました。その後、食事と余興に続きま

した。食事の、主食は赤飯・いなり寿し、汁物は、うどん・そばの麺類、デザートに、おはぎ・ケーキ・ムース、飲み物を用意し好きな物を選んでいただきました。家族と一緒に食べる食事の時の利用者の皆さんの、やさしい表情が印象的でした。余興は、ご家族のカラオケとボランテアで「吉村笑子歌謡教室」の皆様による歌謡ショーが行われ、会場の皆さんを楽しませてくれました。最後は、職員が一月前から練習してきた歌と踊りを披露しました。また、普段のレクリエーションでも行っている手遊びを会場の皆さんにも参加していただき、盛大なうちに、「敬老模擬店」を終えることが出来ました。

その他、九月十四日から敬老週間と題して、毎日、集いを行いました。書道・俳句・生花の作品は苑内に展示し、来苑された皆さんに観ていただきました。また、お茶・料理（クレープを作りました）の集いも行い、シヨッピングでは、御経塚サテイまで足をのびし、お昼ごはんをはさみ、ゆっくり買い物を楽しんでいただきました。

来年も、ご家族の方々と一緒に、笑顔いっぱい「敬老の日」を迎えたいと思います。

9月

金沢市名誉市民 故 安田隆明氏

お別れの式

(陽風園)

金沢市消火技術競技大会

(陽風園)

法話

(陽風園)

敬老の日式典

記念講演

(陽風園)

敬老週間・模擬店

(老人四施設)

シヨッピング

(特養三施設)

秋の旅

(向陽・三陽・ハビリ)

福祉のつどい (三陽・ハビリ・あけぼの)

お茶会

(向陽)

ひまわりボランテア

(万陽)

菊川・内川・十一屋・崎浦・

大桑団地健康づくり教室(地域福祉)

地域清掃ボランテア

(三陽)

敬老ドライブ

(第二)

めぐみ保育園来訪

(第二)

石川県福祉協会ソフトボール大会

(ハビリ)

石川県障害者ふれあいフェスティバル

(ハビリ・あけぼの)

未就園児とお父さんの遊びの会(みずき)

バイオリン演奏・カラオケ

歌謡ショー・民謡踊りボランテア

癒しの香り湯

(木越デイ)

昼食バイキング

(木越デイ)

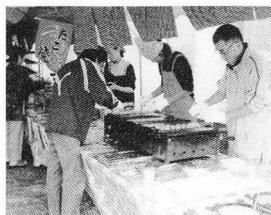
施設だより

三陽ホーム

三陽祭

十一月一日(日)に三陽ホームで毎年の恒例行事となつている三陽祭を行いました。当日は強い風や途中から降り出した大雨と、あいにくの天気でしたが、利用者のご家族や地域の方を多数お迎えすることができ、家族との交流、食事を楽しみにしてきた利用者は、寿司、おでん、うどん、そば、たこ焼き、喫茶等々の各コーナーで楽しく過ごして頂くことができました。

特に寿司コーナーでは、寿司職人が握つた本格的なお寿司を皆さんに味わつて頂くことができました。また、園芸班で育てた観葉植物やステンシル班の作品展示販売も行いました。各コーナーでは大学生や三陽ホーム職員OBがボランティアとして手伝つてくれ、行事をスムーズに進めることができました。このように三陽祭では、ご家族の方にはもちろんのこと、地域の方へも気軽に参加してもらえらるようこれからも努めていきたいと思ひます。



ハビリポート若葉

全国障害者スポーツ大会

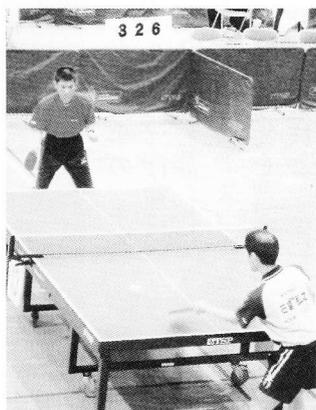
ウインドテニス



十月九日、全国障害者スポーツ大会「トキメキ新潟大会」に川端祐二さんが石川県選手団卓球競技選手として参加し、見事リーグ戦第三位に入賞しました。

石川県代表選手として選ばれたからは、施設での練習はもとより、同じく代表となった選手との合同練習会にも参加しながら腕を磨く日々。うまくできななくてくじけそうになったり、疲れて練習したくない時もあったでしょう。しかし、弱音を吐かずに休むことなく練習に励む川端さん。本番での活躍を願わずにはいられませんでした。

北陸に接近していた台風の影響で出発が一日延期になるというハプニングはあったものの、生活を共にする利用者さんや、施設長をはじめとする職員、また、県庁で行われた結団式では谷本県知事からも激励を受け、新潟県へと旅立ちました。晴れわたった空の下、バスに乗り込む表情はやる気に満ちていました。



試合はそれぞれの障害、年齢によって多くのリーグに分かれて行われました。リーグ内の人数は多くありませんが、どの選手も全国から集まった強者たち。コートでは毎試合熱戦が繰り広げられ、応援席からの声や選手たちの気合いの入った声が響く試合会場は熱気に包まれていました。そんな雰囲気には臆することなく、強敵を相手に川端さんは善戦。やさしい人柄からか、スマッシュをあまり打たない川端さんですが、得意の粘り強いラリーでミスを誘い得点を重ねました。相手の強打を必死に追いつき、あきらめない試合運びで見事リーグ戦第三位に入賞。練習の日々が報われた瞬間でした。

試合後「疲れた」とつぶやきながらも見せた表情は充実感に溢れており、大会を通じて勝ち負けだけではない何かを得たことを物語っているようでした。

10月

藤間他喜代社中ボランティア

(陽風園)

千寿閣社交ダンス愛好会

(陽風園)

演芸ボランティア

(各施設)

秋の旅

(特養三施設)

シヨッピング

紅葉ドライブ

(地域福祉)

(万陽デイ・第二・第三デイ)

菊川・内川・つつじが丘・大桑団地健康づくり教室

ほほえみスポーツフェスタ金沢

デザートバイキング

ハビリエンジョイピク (ハビリ)

第9回全国障害者スポーツ大会

「トキメキ新潟大会」 (ハビリ)

グラウンドゴルフ大会 (ハビリ・あけほの)

めつた汁パーティー (みずき)

交通安全教室 (みずき)

運動会・遠足 (みずき)

保育参加 (みずき)

秋のゲーム大会 (木越デイ)

鍋パーティー (木越デイ)

昼食バイキング (木越デイ)

施設だより

あけぼの作業所
神々の地

今年の秋の旅行は、かつて神々が天に通われた橋であったと伝えられ、日本三景の一つでもある天橋立です。ビューポイントはいくつもありますが、今回は傘松公園からの「斜め一文字」を観てきました。ゴンドラから少しずつ見えてくる全景をワクワクしながら楽しみつ、展望台での「股のぞき」で素晴らしさを堪能しました。夜には恒例でもある温泉と小宴、カラオケを大いに楽しんだことは言うまでもありません。

二日目には、「三人寄れば文殊の知恵」で有名な智恩寺を訪れました。文殊堂ではお香の煙を、知恵を授けてくれるという知恵の輪灯籠では先を競って回るなど楽しく観光しました。観光地や食事処、帰途に立ち寄った小牧かまほこ館ではたくさんのお土産を買いこむ姿も見られ、それぞれが思い出に残る旅であったのではないかと思います。

今年の旅行は台風の接近もあり、あまり天候に恵まれたとは言えないものの、ほとんど雨に合うこともなく無事終えることができました。これも神々のおはからいだったのでしょいか・・・。

みずき保育園
めった汁パーティー

みずきっこ農園に毎年五月頃、子ども達の手でサツマイモや野菜の苗が植えられます。収穫を迎える十月まで水やりや草むしりなどお世話をし、愛情たっぷり育てました。

そのサツマイモを使って先日めった汁パーティーをしました。生まれて初めて使う包丁で野菜を切り「おいしくなりますように」と手を合わせてお願いして味付けし、おいしいめった汁が出来上がりました。

この日は、日頃お世話になっていいる地域の方々に感謝の心をこめてお招きしました。賑やかに飾り付けをして皆で机を囲み熱々のめった汁を味わいました。「おいしい!」「このおイモ僕が切ったのかも!」など自分達で作っためった汁はやはり格別の味だったようで、どの子の顔にも招待した地域の方々も皆、満面の笑みが溢れていました。自分達で大切に育てたサツマイモを自分達の手で調理して、自然の恵みに感謝しながら皆で味わい、心もおなかも大満足!の子ども達でした。

入園者の変動状況 (8月~10月)

施設名	入園者数 (11月1日現在)	入 所	退 所
向陽苑	237	7	10
万陽苑	185	24	25
第二万陽苑	152	26	18
第三万陽苑	145	18	20
三陽ホーム	105	0	0
ハビリポート若葉	204	1	3
あけぼの作業所	40	0	0
みずき保育園	176	1	0
診療所	17	18	16
合 計	1,261	95	92

在宅サービス利用状況 (8月~10月)

施設名	事 業	延人数
万陽苑	ショートステイ	321
	デイサービス	925
	ホームヘルプサービス	320
	配食サービス	270
	移送入浴サービス	11
	居宅介護支援事業	496
お年寄り地域福祉支援センター	予防プラン	1,083
	介護相談	789
木越	デイサービス	740
	居宅介護支援事業	102
第二万陽苑	ショートステイ	717
	ホームヘルプサービス	343
	居宅介護支援事業	205
第三万陽苑	ショートステイ	645
	デイサービス	683
	居宅介護支援事業	203
ハビリポート若葉	ショートステイ	33
	日中一時支援	6



感謝録

8月～10月

(順不同・敬称略)

ボランティア

- 藤間他喜代社中
- 千寿閣社交ダンス愛好会
- 陽だまりグループ
- カトレアの会
- ひなげしの会
- 小西グループ
- おもしろ一座
- 第二万陽苑家族会
- 葉月の会
- 合歓の会
- 三色すみれの会
- PL金沢南教会
- ひまわりグループ
- 石川県退職公務員連盟

- | | |
|-------------------|-------------|
| 吉村 笑子 (金沢市) | 勝尾外美子 (金沢市) |
| 新畑 光文 (金沢市) | 安岡 龍男 (金沢市) |
| 多田 幸雄 (金沢市) | 村尾 和子 (金沢市) |
| 高窪千寿子 (金沢市) | 朝倉 薫 (金沢市) |
| 荒間 知子 (金沢市) | |
| つる幸 (金沢市) | |
| (株)サンライン (金沢市) | |
| 弥生公民館 (金沢市) | |
| リリアール (金沢市) | |
| 千寿閣社交ダンス愛好会 (金沢市) | |
| 川岸 道子 (金沢市) | 安田 貴幸 (金沢市) |
| 北野 喜行 (金沢市) | 東 俊之 (金沢市) |
| 西野 宏 (金沢市) | 石林三枝子 (金沢市) |
| 林 武昭 (金沢市) | 村田 寛子 (野々町) |
| 山本 悦子 (金沢市) | 永井五十鈴 (能美市) |

寄附物品の部

寄附金の部

- 山本 壽嗣 (金沢市)
- 小高 邦 (金沢市)
- 東藤 登 (野々町)
- 庄田 邦彦 (能美市)
- 林 武昭 (金沢市)
- 小野 陽子 (金沢市)
- 浅田 賽銭箱

その他匿名 三十一名

ご厚意ありがとうございました。



本園正面玄関に掲示